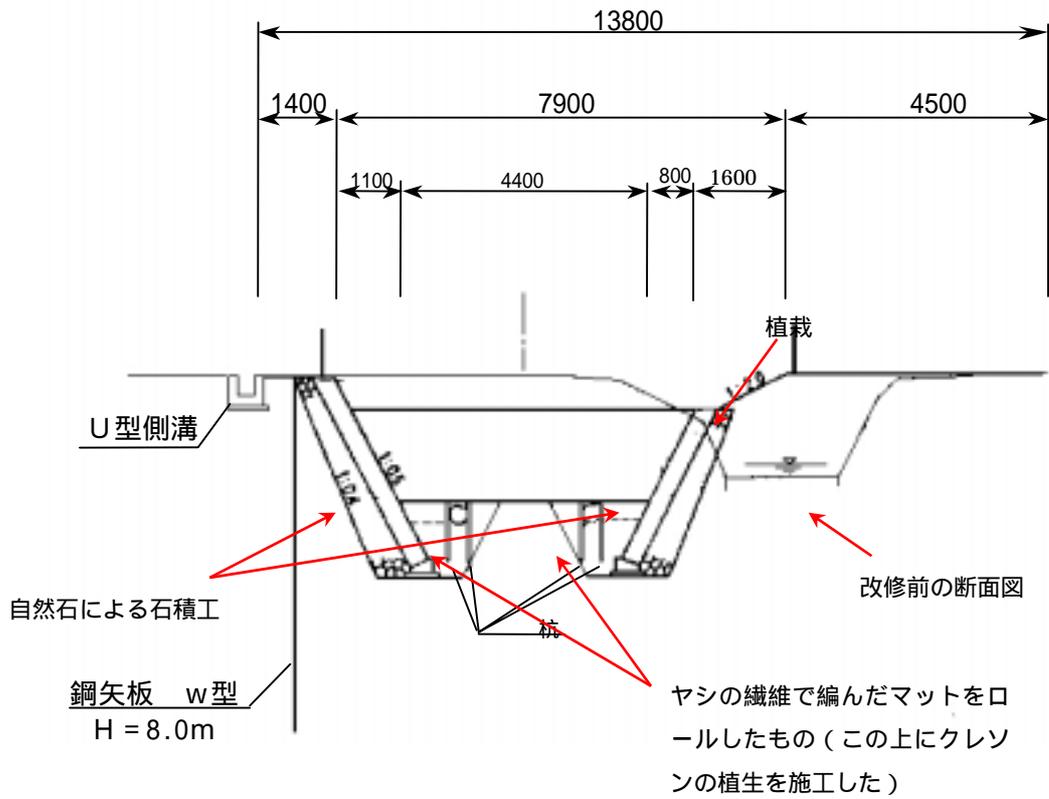


事例 NO.20		
事業の種類	河川等	
環境配慮の概要	多自然型河川（ヤシの繊維のマットを用い親水性を考慮した河川改修）	
事業名	一級河川江の川水系北溝川 統合河川整備事業	
事業主体	広島県（担当機関：備北地域事務所建設局工務第二課）	
実施場所	広島県三次市十日市東 北溝川	
実施期間	平成12年度	
事業概要	全体事業費	3,689百万円
	施工区間等	北溝川（三次市十日市東），施工延長L = 390m，河道幅3.5～5.5m
	事業の目的・経緯等	北溝川はメダカ，ヤリタナゴ，ナガエミクリなどの貴重な動植物が存在し，生物学的に豊かな河川である。また，市内中心部を横断することから，周辺住民が川に親しみを持って接することができるよう河川改修を行うこととした。
環境配慮の内容	<p>工法等</p> <p>(1) 多自然型川づくりとして，ヤシの繊維で編んだマットをロール状にしたものを用いることにより，水際部の改善や動植物の生息空間に配慮した改修を行った。</p> <p>(2) ヤシの繊維で編んだマットをロール状にしたものに，リンや窒素の吸収に優れるとされているクレソンを植栽することにより，水質浄化を図るとともに，水辺環境の改善に寄与する。</p> <p>(3) 憩いの場としての景観に配慮し，自然石による石積工を採用するとともに，河川護岸の天端に植栽を行うことにより，環境整備を図る。</p>	
施工後の状況	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレソンの植栽などによる水際部整備によって生物の生息環境が改善され，様々な生物が復元し始めた。</li> <li>・自然石による石積は景観上良好であり，街の美化に役立っている。</li> </ul>	
留意点等		

(図面, 写真, 説明)



【改修前後の横断面図】



【改修後の写真】

出典